

令和6年度 学校評価 報告書

報告日
令和7年3月11日

幼稚園名	芦屋市立西山幼稚園
園長名	村上 洋子

1 今年度の重点目標

- 響き合う仲間を育むための教育の推進
- 心豊かな幼児を育む地域との連携の研究
- 子育て支援活動の充実

2 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

園の教育目標、重点目標から評価項目を選び、保護者対象の教育評価アンケートと教職員対象の自己評価が適切に実施されている。

3 学校自己評価結果

(A:十分達成している B:達成している C:概ね達成している D:達成していない)

No.	分野	重点	評価項目・取組状況	達成状況	改善方策
1	教育課程	1・2	<ul style="list-style-type: none"> ○響き合う仲間を育むための教育の推進 友達と思いを出し合い、互いに認め合えるような保育を進めてきた。竹馬やコマ回し等、目標をもち友達と粘り強く頑張り、達成感を味わえる経験になった。 ○心豊かシートにより幼児の「学びに向かう力」を読み取り研究を進め幼児理解につながった。 ○小中学校・保育園、こども園と計画的に交流をもった。地域の方に行事に参加していただき、人と関わる楽しさや親しみの気持ちをもった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の内面理解を深め、友達と協力し、認め合い、響き合うことのできる保育を工夫していく。 ・異年齢活動を計画を進め、幼児の育ちにつながるようにする。 ・幼小中での連携について、教員の連携や研究を深めていく。地域の保育園、子ども園との連携についても、幼児の成長に生かせるよう計画し、交流を深める。
2	子育て支援	3	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭やプール開放、土曜のオープンスクールなど、地域の未就学児が園に来て、保護者同士や園との繋がりがもてるようにした。 ・ブログや園だよりで幼稚園教育の内容を発信した。また、祭りや音楽会等保護者と共に参加できる行事を実施し、幼児理解や園との連携に繋がった。 ・さんさんひろばの幼児も幼稚園行事に参加し、一緒に楽しんだ。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児の園庭開放・プール開放により、子育て支援に繋がる内容を工夫する。 ・保護者の幼児理解を深め、相談や連携がしやすい園になるように努める。 ・さんさんひろばの幼児の、園行事の参加や園児との交流を工夫する。

4 評価項目に係る学校関係者評価

学校自己評価結果及び改善方策についての評価
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が、自分の思いをしっかりと表現できている。先生が一人一人を丁寧に育て育ちにつなげており、少人数のよさを感じる。 ・城山登山やモリアオガエルの卵からの飼育など、豊かな自然環境を生かした西山ならではの保育をしている。 ・地域の保育園こども園との交流は、園児にとっても地域にとってもプラスだった。これからも地域の学校園のつながりを大切にしていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園がプールや園庭を開放し、未就園児が家庭ではできない経験をしたり、幼稚園の保育を知ったりすることはとても意義深い。幼稚園の保育やよさを自分たちも発信していきたい。 ・地域ぐるみで子育てをしており、幼稚園がその核となっている。今後も学校園や地域がつながって子どもを育てていきたい。

5 総合的な学校関係者評価

教育活動の取り組みや教育評価は良好である。今後も、家庭や小中、地域との連携に努め、安心して幼児が過ごせる幼稚園となるよう、教育内容や子育て支援の推進、情報発信の方法の画策を期待する。